



NPO法人
日本アレルギー友の会
〒135-0002
東京都江東区住吉2-6-5
インテグレート村上3F
TEL 03 (3634) 0865
FAX 03 (3634) 0850
http://www.allergy.gr.jp/
mail j-allergy@nifty.com
郵便振替 00130-6-109985
編集発行人 堀内 繁

新薬紹介

吸入ステロイド薬 ぜんそく治療剤

「アズマネックス ツイストヘラー」新発売 ぜんそく患者にまたしても朗報！

★吸入ステロイド薬に

新たな薬剤加わる！

「アズマネックス」は、米国シエリング・プラウ社によって開発された合成ステロイドであるモメタゾンフランカルボン酸エステルを主成分とするドライパウダータイプのぜんそく治療剤です。わが国では昨年承認され、

同年9月、新発売されました。

本剤は、すでに世界60カ国において気管支ぜんそくで承認を取得しています。国内におけるモメタゾンフランカルボン酸エステル製剤としてはほかに、「アレルギー性鼻炎用スプレー剤である「ナゾネックス」と、皮膚科外用剤である「フルメタ」があります。

わが国のぜんそく患者の吸入ステロイド薬普及率は年々上昇しているものの、成人18%、小児8%と低く、また、ぜんそくにより日常生活に制限を感じている成人は58%、小児は48%と依然として多いとの報告(全国喘息患



者電話調査(AIRJ)2005)があり、普及率の改善が望まれています。そのためには、薬剤の簡便性、吸入器の操作が簡単で誤使用を防ぐ機能を備えていること、高齢者など吸入する力が不足している患者にも使用できることなど、患者が使用しやすい新たなステロイド吸入薬が待たれています。そして重症度、末梢気道炎症の有無などを考慮して、個々の患者に最適な薬剤を選択し使いこなすことが必要とされています。

★気管支ぜんそくの病態

気管支ぜんそくの病態の中心は、気道が狭

◆目次◇

- 成人ぜんそくにおける新薬情報②……………(2)
- 成人重症アトピー性皮膚炎に対するシクロスポリン内服療法②……………(4)
- 「患者だからわかる」シリーズ本監修の先生からの書評……………(6)
- 顧問の先生からのメッセージ⑦……………(8)
- イオン・幸せの黄色いレシートに参加……………(8)

くなることと気道が過敏になることであり、そこに慢性的な炎症が起こっていることが確認されています。気道の炎症は中枢気道(太い気道)のみならず末梢気道(細い気道)から肺胞に至る全領域で起こっています。

したがって、現在のぜんそく治療においては、発症後の早期から吸入ステロイド薬による中枢気道炎症と末梢気道炎症の治療が大切であり、両者への薬剤送達に適した吸入ステロイド薬の粒子径を考慮することが重要になつてきます。その粒子径は2〜3μmと報告されています。

★アズマネックス®の特徴

- ①主成分のモメタゾンフランカルボン酸エステルは、局所での強い抗炎症効果を示します。
- ②平均粒子径は2μmとドライパウダーの中では最も小さく、肺への送達率が約40%と、単剤で肺全体の治療が期待できます。
- ③吸入投与時の血中移行は約1%と、極めて少なく、安全性が確認されています。
- ④投与1週目より起床時ピークフロー値を改善します。
- ⑤吸入器：ツイストヘラー®の特徴

- ・吸入する力が不足している患者にも使用が期待されます。
- ・キャップの開閉のみで1回吸入量が自動

的にセットされ、吸入操作が簡便です。
・大きく見やすい残量計を有しています。
・残量不足状態での誤使用を防ぐため、規定の60回吸入後にキャップが外れなくなるロックアウト機能を装備しています。

★治療薬としての位置付け

喘息予防・管理ガイドライン2009において、吸入ステロイド薬は軽症間欠型(治療ステップ1)から長期管理薬の基本治療として記載されています。

治療ステップ別推奨量は、フルタイド®、キュバルム®、エアゾール®などと同様に、軽症間欠型〜軽症持続型(治療ステップ1〜2)では低用量(100〜200μg/日)、中等症持続型(治療ステップ3)では中用量(200〜400μg/日)、重症持続型(治療ステップ4)では高用量(400〜800μg/日)です。

★まとめ

アズマネックス®ツイストヘラー®は、微粒子で吸気流速にかかわらず吸入できること、優れた吸入器、さらには強い局所抗炎症効果などの利点により、ぜんそく治療における新たな吸入ステロイド薬として優れた効果が期待できる薬剤と考えられます。

なお、副作用の主なもの口腔カンジダ症、声がれ(しゃがれ声)、のどの違和感です。現時点では、小児に対する使用経験がないので、成人に対して使用されます。

使用希望および詳細は主治医(専門医)にご相談ください。

新たな特徴を有する薬剤の登場により一人でも多くの方のQOLが向上することを期待し、関係各位にはぜんそく治療の更なる進